

競技注意事項

1 競技規則について

- (1) 本大会は、2017年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 高体連規則により、引率教員がいない学校の出場は認めない。

2 競技者の招集について

- (1) 競技者招集所は、正面玄関外側の100mスタート方向に設置する。
- (2) 招集時間

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
4×400mR予選 3・4組	競技開始20分前	競技開始10分前
3000mSC予選 2組	競技開始15分前	競技開始5分前
上記以外のトラック競技 予選・準決勝	競技開始30分前	競技開始20分前
トラック競技 決勝	競技開始20分前	競技開始10分前
走高跳	競技開始70分前	競技開始60分前
棒高跳	競技開始120分前	競技開始110分前
走幅跳・三段跳・砲丸投	競技開始60分前	競技開始50分前
円盤投・やり投・ハンマー投	競技開始70分前	競技開始60分前

(3) 招集の手順

- ① 競技者は出場種目の招集開始時刻（点呼開始時刻）に招集所で点呼を受けて待機し、競技者係の指示によりスタート地点またはピットに移動する。
- ② 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
- ③ 混成競技の招集は、両日共、第1種目の招集をトラック競技及びフィールド競技の招集に準じて行う。以降の種目については、種目ごとの招集は行わない。尚、混成競技の競技者は、混成競技控室（本競技場1階事務室前トレーニング室）で待機し、各種目前（トラック20分前・フィールド30分前）に点呼を受けた後、スタート地点またはピットに移動する。最終点呼はスタート地点またはピットで行う。
- ④ 棄権をする競技者は、本人または引率教員が棄権届用紙（招集所に準備）に記入し、招集開始時刻までに招集所に提出すること。
- ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ⑥ リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、各ラウンド毎に招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙（招集所に準備）を招集所競技者係に提出すること。また、招集は規定通りに受けること。
- ⑦ リレーのエントリー以外からリレー出場の場合は、オーダー用紙の氏名の右にエントリーした他種目名を記入すること。

3 ナンバーカードについて

- (1) 出場者はナンバーカードを胸部と背部につけて出場しなければならない。ただし、跳躍競技の競技者は、胸部または背部につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技者は、招集所で競技者係から渡されたレーンナンバーカードを右腰やや後方につけること。

4 競技について

- (1) 走高跳、棒高跳の練習及び競技中のバーの上げ方は、次のとおりとする。ただし、気象条件等により変更することもある。

男子走高跳 1.75(練習) 1.75 1.80 1.85 1.90 1.93 (以降3cm刻み)

女子走高跳 1.40(練習) 1.40 1.45 1.50 1.53 1.56 (以降3cm刻み)

男子棒高跳 2.50・3.00・3.50(練習) 2.60 2.80 3.00 3.20 3.40 3.60 3.70 (以降10cm刻み)

女子棒高跳 2.00・2.40・3.00(練習) 2.00 2.20 2.40 2.60 2.80 2.90 3.00 (以降10cm刻み)

- (2) 混成競技走高跳の練習及び競技中のバーの上げ方は、次のとおりとする。A・Bピットの選択は、競技者が当日現地にて行う。

男子八種 Aピット 1.50(練習) 1.50 ~ (5cm刻み) ~ 1.70 1.73 (以降3cm刻み)

Bピット 1.20(練習) 1.20 ~ (5cm刻み) ~ 1.70 1.73 (以降3cm刻み)

女子七種 Aピット 1.25(練習) 1.25 ~ (5cm刻み) ~ 1.40 1.43 (以降3cm刻み)

Bピット 1.10(練習) 1.10 ~ (5cm刻み) ~ 1.40 1.43 (以降3cm刻み)

- (3) 当該競技に参加する競技者以外は、競技場内に立ち入らないこと。
- (4) スパイクシューズのピンの使用は、トラック種目9mm以下、フィールド種目12mm以下とし、全天候型走路専用ピンに限る。
- (5) トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (6) 長距離・競歩種目については、気象の状況により給水を設けることがある。
- (7) 4×400mリレーの第3・4走者は、競技役員の指示に従い前走者が200mスタート地点を通過した順位で、内側から並びマークを踏んで待機する。その後に順位に変動があっても位置を変えてはならない。尚、バトンを受け渡した後の走者は、後続の他チーム走者の走路を妨害しないように留意すること。
- (8) リレーに出場のチームは、各校同一のユニフォームを着用すること。
- (9) 通信機器(携帯電話・トランシーバー等)、ビデオ、ラジオ、CD・MDプレーヤー等は競技場内へ持ち込むことは、出来ないので、あらかじめ学校関係者に預けておくこと。
- (10) 投てき競技に出場する競技者は、練習場を含めて役員の指示に従い、事故防止に十分に注意すること。

5 競技の抽選及び番組編成について

- (1) トラック種目における準決勝・決勝へのプラス進出者については、該当競技者の最下位に同記録が複数出た場合、写真判定により写真を拡大し「着差あり」まで判定する。それでも決まらない場合は「同着」とし抽選する。ただし、1500m・3000mSCについては同記録者は全員次のラウンドへ進むことができる。
- (2) 抽選のアナウンス後5分経過しても抽選にこない場合は棄権とみなす。対象者は特にアナウンスに注意すること。抽選は本部の番組編成席で行う。

6 競技用具について

- (1) この競技会で使用する用器具は、主催者で用意した競技場備え付けのものを使用しなければならない。
- (2) 男女やりについては、個人持参のものを主催者で検査のうえ使用を認める。ただし、共通使用とする。
- (3) やりの検査は、第4ゲート用器具倉庫にて時間(通告する)を決めて行う。

7 練習について

- (1) フィールド競技（ハンマー投を除く）の練習は、招集後に競技役員の指示により本競技場内で行う。
- (2) 雨天練習場
 - ① 1・2レーンを100mスタート方向からの一方通行とする。3レーン及びコンクリート部分を折り返しのレーンとして使用する。
 - ② 各校の控え所としての使用は禁止する。
- (3) 投てきの練習について
 - ① 投てき競技（ハンマー投を除く）の練習は、本競技場内のみとし、本競技場外での練習は厳禁とする。
 - ② ハンマー投の練習については、投てき練習場で行う（7時半）。投てき練習場へは、競技者以外は立ち入らないこと。
 - ③ 練習については各校顧問教諭付き添いのもと、役員の指示に従い、事故防止に十分に留意すること。

8 表彰について

- (1) 各種目の表彰は第3位まで行う。第3位までの入賞者は決勝終了後、本部の被表彰者控え所で待機する。なお、他種目がある場合は代理人を出すこと。
- (2) 学校対校は総合の部・トラックの部・フィールドの部のそれぞれ第3位までを表彰する。
- (3) 入賞者の得点、1位6点、2位5点、以下4・3・2・1点とする。

9 北九州地区大会について

- (1) 本大会第6位までの入賞者は、北九州地区大会（6/15～18福岡県・博多の森）の出場資格を得る。ただし、男女競歩競技・男女混成競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は第4位までとする。
- (2) 北九州地区大会出場資格校は、大会本部で必要書類を受け取り所定の手続きを行う。「仮申し込み書」は本大会終了後速やかに（大会中でも可）大会本部へ提出する。

10 その他

- (1) 記録については通告をするが、別にフィニッシュライン側玄関外側に掲示する。
- (2) スタンドにはテントを設置しないこと。
- (3) 各校の応援用横断幕は、スタンドの一番下には張らないこと。サイド・バックスタンドも同様。横断幕等は紐でくくりつけ、ガムテープの使用は禁止。
- (4) 各校ののぼり旗については横断幕と同様であるが、メインスタンドにおいてはスタンド最上部後方フェンスにくくりつけてもよい。
- (5) 応援については、競技場内や競技場内通路での応援は禁止する。
- (6) 集団での連呼応援は禁止する。フィールド競技を行っている際、その付近でのトラック競技への応援は禁止する。
- (7) 各学校の控え所は譲り合って使用し、必要以上の広さを確保専有しないこと。
- (8) 各校の控え所の目印等で、紙のガムテープを床に貼らないこと。
- (9) 更衣室は更衣のみに使用し、私物は一切置かない。
- (10) ゴミについては、各学校で責任を持って持ち帰ること。
- (11) ビデオを見せる場合は、スタンドからのみ認める。吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため競技区域から離脱する行為は認めない。